

磯子区社協からのお知らせ

善意銀行 ~あなたのご寄付をありがとうございます~

令和3年1月1日~12月31日(順不同、敬称略)

- <金銭>【個人】太田 明 2件/曲 暁光/高橋 昇/匿名6名
 【団体】宗教法人 洋光台キリスト協会/横浜労働協働なごさ支部
 田中日本赤十字奉仕団 ハマロード陽だまり有志
 JEC連合 ENEOS労働組合 根岸支部/高栄企業(株)
 IHI労働組合連合会 横浜支部/日清オイルグループ(株)
 (株) 清光社/ピンクッション 代表 宮内 恵美子
- <物品>【個人】木口 優子/坂井 和子 2件
 【団体】キオクシア労働組合 大船支部/東芝労働組合 横浜支部
 三親住設(株) 12件/ザシティ新杉田店 5件/匿名1件

~ご寄付の方法について~

磯子区社会福祉協議会へお持ちいただくか、ご連絡の上、下記の銀行口座にお振込みください。なお、確定申告などによって、所得税法及び地方税法上の寄付金控除をうけることができます。

横浜銀行 磯子支店(341) (普通) 6079872
 名義:社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会 善意銀行
 物品についてはお問い合わせください。

賛助会員募集のご案内

「賛助会員」は、社協活動をより充実させていくため、趣旨にご賛助いただける方に財政的支援をお願いしている会員制度です。いただいた賛助会費は、区内の福祉保健活動に役立てられています。

- 賛助会員会費
 <個人>年額 1口 1,000円 <法人>年額 1口 10,000円
- 入会方法・手続き
 郵便振替 口座番号:00240-9-77406
 ※お問い合わせいただければ振込用紙をお送りいたします。
 また、直接磯子区社協窓口でもお受けいたします。

~会員特典~

- 各種情報誌やお知らせを通じて、様々な福祉情報をお届けします。
- 提携、協働事業等を通じた活動支援・運営支援を行っています。

●ご協力ありがとうございました!●

令和3年1月1日~12月31日(順不同、敬称略)

- 【団体】(有)川茂興行/(株)高橋組/(株)テクノ電工/佐藤技工(株)/(有)峯岸工務店
 日本環境技術(株)/特定非営利活動法人さざなみ会/(株)メイク
 医療法人社団一洋会/H.E.Cサイエンスクリニック/たすけあい磯子
 医療法人社団至誠会/幸進工業(株)/(株)山本商会/アニメイト(株)
 たきもとクリニック/横浜せしモ(株)/(株)コスモテック/(有)山崎表具店
 (有)カズコーポレーション/東京液化酸素(株)/三親住設(株)/高栄企業(株)
- 【個人】上田 規夫/新井 敏二郎/光山 九洲生/渡邊 由利

福祉いそごの音声データを作成しています!

視覚障害者の方々へ、録音ボランティアグループ「アマリリスの会」のみなさんが「福祉いそご」の音声データの作成をしています。ご希望の方は無償で配布いたしますので、磯子区社会福祉協議会(045-751-0739)までご連絡ください。

◆愛読者アンケート◆

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で図書カードをプレゼントいたします。

応募は、はがき・FAX・Eメールで、

- ①郵便番号・住所・氏名・TEL・性別・年齢
- ②「福祉いそご」を手に入れた場所
- ③ご意見・ご感想、をご記入の上、

4月30日(必着)までに、磯子区社会福祉協議会「アンケート係」へお送りください。当選は、図書カードの発送をもって代えさせていただきます。



Eメールはこちら又は下記アドレスまで info@isoshakyo.com

こんなご意見・感想が少しだけ紹介いたします!!

- コロナ禍の中、各地区の活動がそれぞれ工夫して密にならないように行われていることに感心いたしました。これからもがんばってください。
- 去年コロナが流行り始めてから横浜市に引っ越してきて地域の集まりなどをほとんど知りませんでしたが、この冊子で様々な情報を得る事ができました。写真付きで雰囲気もわかりやすくありがとうございました。
- いつか自分もお世話になるだろうと思い、自分にも今からできる事があつたら参加してみたいと思う内容でした。人助けの仕事はなかなかできないもの、本当に頭の下がる思いです。ありがとうございます。
- 各地域の活動が見れて面白かったです! 等

貴重なご意見・感想ありがとうございました!!

令和3年度 広報紙編集委員

- 委員長 ●古知屋 多恵子
 委員 ●鳥海 俊一/篠塚 妙子/印東 和子/岡田 はつみ/沖園 典子
 松島 勝美/山口一江/工藤 昭子/中澤 悦子/猪越 重吉
 吉澤 幸治/倉橋 丈夫/水越 尚登/森 佳代子

次号(第77号)は2023年3月発行予定です



磯子区社協や地域の情報をつぶやいていきます。アイコンは磯子区社協のキャラクター「ふくちゃん」です。ぜひ見て下さい!

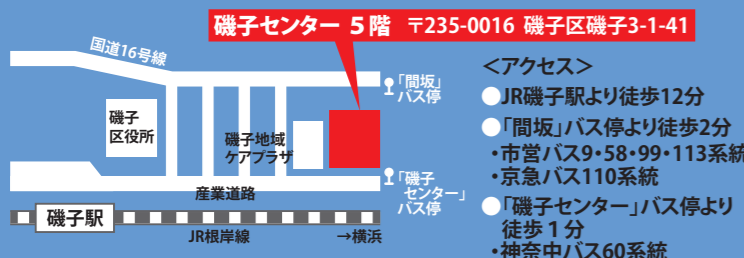


<https://twitter.com/isogokushakyo>

アカウント名は横浜市磯子区社会福祉協議会



幸せ♥支えの街 福祉いそご Vol.76



磯子区社会福祉協議会(磯子区社協)は、社会福祉法第109条に基づいて、「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」を合言葉に、身近な福祉課題について地域の皆さまと一緒に考え、取組をすすめています。

開館時間	磯子区社会福祉協議会 月~金 9:00~17:00	磯子区ボランティアセンター 月~土 9:00~17:00
	磯子区社協あんしんセンター 月~金 9:00~17:00 専用TEL:045-751-1567	磯子区移動情報センター 月~金 9:00~17:00 専用TEL:045-759-4005
	磯子区福祉保健活動拠点 月~土 9:00~21:00 ※ただし第4月曜日は17時まで 日・祝 9:00~17:00 (休日の場合はその翌日)	

※12月29日~1月3日は休館 ※天災等により開館日や時間等が変更になる場合があります

幸せ♥支えの街 福祉いそご

令和4年3月発行

Vol.76

編集●広報紙編集委員会
 発行●社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会
 〒235-0016 磯子区磯子3-1-41 磯子センター5F
 TEL 045-751-0739 FAX 045-751-8608
 E-mail info@isoshakyo.com
 URL <https://www.isoshakyo.com/>

住み慣れた街で安心して暮らしていくために...

特集

「スイッチON磯子」がスタート



磯子区地域福祉保健計画「愛称:スイッチON磯子」は、地域で暮らす誰もが幸せな生活を送れるように、身近な地域で支えあえる関係をつくることを目指した計画です。今回は、その内容をご紹介します。

住み慣れた街で安心して暮らしていくために...

スイッチON磯子（磯子区地域福祉保健計画の愛称）は、磯子区に住む誰もが、自分らしく安心して幸せに暮らしていくことを目指して策定された計画です。

この計画の特徴は、行政や専門機関などが計画を推進するだけでなく、住民の皆さんがちょっとずつ力を出しあいながら、よりよい街をみんなでつくっていくところにあります。

身近な地域でできる事をできる範囲でやっていきましょう！という漠然としていて、少し難しく感じるかもしれませんが、まずは挨拶からでも大丈夫。すこしずつ支えあいの輪を広げ、笑顔ややさしさを繋がる地域を一緒につくっていきましょう。

以下はみなさんの活動が地域福祉保健計画につながっている一例です。

ふれあいランチ@洋光台地域ケアプラザ

地域の高齢者の見守りのために、平成10年に民生委員がこの配食活動を立ち上げました。3年後にはボランティアを募集して、現在、28名のスタッフで洋光台在住の高齢者に週一回お弁当を届けています。準備に2日かかることもありますが、手作りのお弁当はとても好評で「毎日食べたい」と言うご利用者の方もいるほどです。

スタッフにとっても地域の役に立てればとの思いのもと、この活動は楽しく、勉強にもなり、生きがいになっています。コロナ禍で6ヶ月の休止期間もありましたが、ご利用者もスタッフも一人も減らずに再開できたことは、この地域に根ざしている活動になっていると感じています。



こどもすまいる食堂@滝頭地域ケアプラザ

「こども食堂」「地域食堂」は、困難を抱える子どもへの気づきや見守りができます。継続的に開催されることにより、担い手や地域との信頼関係ができ、子どもや保護者にとって安心できる居場所となっています。

こどもすまいる食堂では、第三金曜17時の開始前から長い列ができています。コロナ禍の現在は、こどもにはお弁当、大人には食材を配布しています。代表の篠塚さんは「こどもは笑顔ですくすく育ってほしい」と言います。様子を見かけた方がボランティアの申し出をしてくださったり、思いに賛同して物品を寄贈してくださったり支援の輪が広がっています。ボランティアの方たちの楽しそうな姿が印象的です。



基本理念

誰もが幸せに暮らせるまちをみんなでめざす

基本理念と基本目標は計画全てに共通する大事なことだね！



「スイッチON磯子」のパンフレットは区役所・区社会福祉協議会・各地域ケアプラザで配布しています。また区役所・社会福祉協議会のホームページでもご覧いただけます。



スイッチON磯子

基本目標 I

共に支えあう
お互いさまのまち

基本目標 II

自分らしく健やかに
暮らせるまち

基本目標Ⅲが基本目標Ⅰと基本目標Ⅱの土台となって支えています。

基本目標 III

多様性を認めあい
活動が広がり
つながりのあるまち



横浜フラットヘッド「みんなでバスケットボール」

横浜フラットヘッドは、平成28年から精神障害のある方がスポーツ（バスケット）を楽しめる場として活動を始めました。現在は、障害のある方だけでなく、健常者もごちゃまぜで参加しています。共通の興味、スポーツを通して相互理解・交流を行い、「地域共生社会」の実践、継続を目指しています。



ワールドキッズ@根岸中コミュニティハウス

毎週土曜15時半～17時半まで外国にルーツを持つ子どもへの学習支援をしています。小学生から中学生20名ほどの児童・生徒が個別で様々な学習をしていました。

代表の王さんは「ただ勉強をしているのではなく、居場所となって、自分を出せる場所になれば」という思いで活動しています。子どもの進路にかかわるため、保護者向け進路説明会も行っています。



区の助成金で参考書等を購入

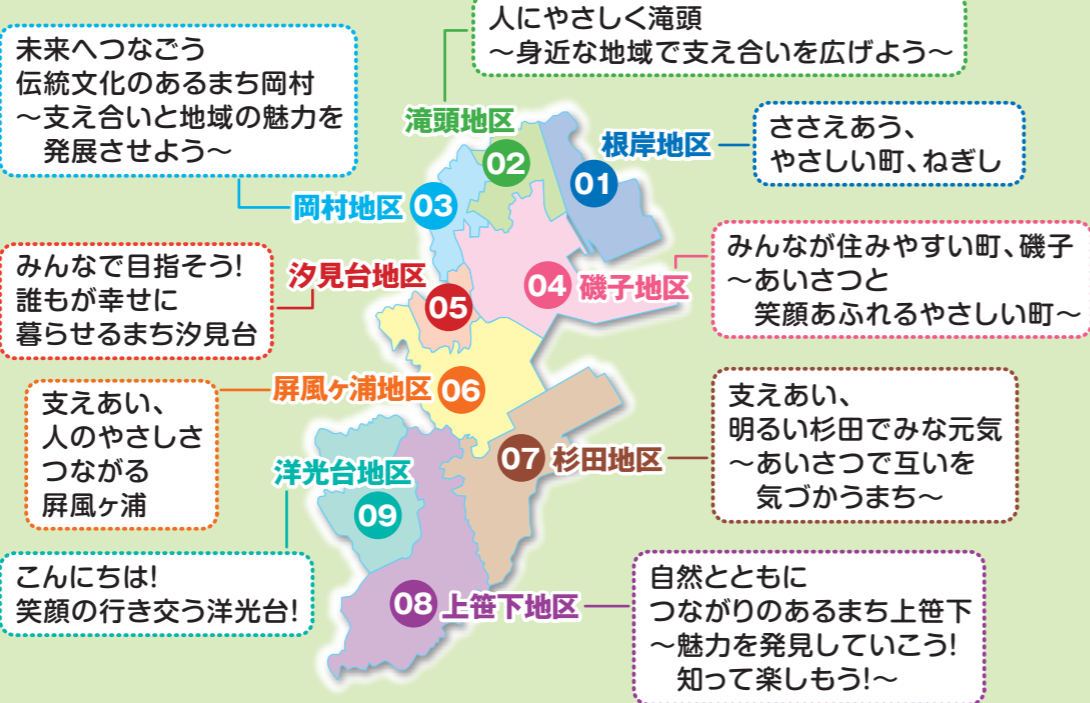
各地区社協より 地区社協だより

昨年に引き続き、今年度もコロナの影響で活動の制約がある中、各地区において工夫をしながら活動が少しずつ再開されています。それぞれの地区の活動の様子をご紹介します。

区全域計画と地区別計画について

スイッチON磯子第4期計画は、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが中心となって取り組む「区全域計画」と、地区連合町内会単位で住民が主体となって取り組む「地区別計画」で構成されています。

地区別計画では、各地区ごとのスローガンなどを定めています。



01 根岸地区

ねぎし子どもとまり木会

「とまり木会」は令和元年6月より子どもたちが本気になれることや、やってみたいと思うことの手助けがしたいとの思いから始めました。月2回第一、第三の水曜日に「とまり木会」を根岸地域ケアプラザの多目的ホールで音楽や工作などを行っています。

コロナ禍では、静かにできるものとしてプラバン作りを行っています。会場にはいつも生の音楽が鳴っており、手を洗う時にもこの曲が終わるまでしっかり洗うように音楽を流しています。子どもたちが作るプラバンもだんだん上手になり、出来上がると得意げな顔やうれしそうな顔をみる大人たちも笑顔になります。今年度から社会福祉協議会の子ども事業として活動しています。



02 滝頭地区

「スイッチON」ペタンクを楽しもう!!

岡村東部地区では、これまでスイッチON事業として「健康吹き矢」を行っていましたが、コロナ禍で中止となったため、活動中止の代替案としてペタンクに挑戦しました。参加者の喜びの声を紹介します。

「リウマチで手の関節が固まっていますが、自分なりに楽しめるのが嬉しい。」「友達の自転車に手を添えて一緒に行く道すがらお喋りが弾む。」主催の民生委員の松本さんからは、「ゲームの進行も笑いあり、激励あり、楽しんで活動している。」とのこと。同じ空間を共有して笑いあえる仲間があるって素晴らしい。ペタンクに挑戦し親交が深まりました。



03 岡村地区

子育てしやすい地域づくりを目指して

ママのたまり場「mamariba」(ママリバ)は、生後2ヶ月から入園前のお子さんとお母さんのための広場です。

ママリバを運営されている助産師の佐藤さんは、地域の親子のために何か出来ないかと「いそご地域づくり塾」を受講した卒業生です。3年前から何人かの仲間と立ち上げ、岡村西部連合自治会館で毎月第四水曜日10時より開催しています。毎回10数組の親子が集います。親子体操、絵本読み、おもちゃ遊び、子育て相談、情報交換等、手作りの温かい雰囲気があります。お母さん同士が知り合い、つながりが生まれ、子育てしやすい地域づくりが出来ているようです。



04 磯子地区

みんなが住みやすい町、磯子を目指して

一人暮らしの高齢者や、障害のある方に昼食を用意して、毎年さわやかな季節に「ふれあい運動会」を実施して30年近くになりますが、昨年に引き続き今年もコロナの影響で中止となってしまいました。毎年運動会では、中学生のボランティアが大活躍で、若い力で盛り上げてくれます。

地域では、一人暮らし高齢者世帯が増加しています。人と人とのつながりの希薄化をどうしたら防げるのでしょうか。コロナ禍の今、できる活動は制限されていますが、それなりに、継続して交流を広めていきたいと思えます。



05 汐見台地区

救命救急救出法を学びました

7月31日スイッチON委員会の主催で、集合住宅における救命救急救出法を磯子消防署の協力で人数制限をしながら開催しました。

上層階からの救出方法、簡易担架、AED等の操作方法を教えてくださいました。緊急事態宣言下での会議や行事が中止になる中、有意義な時間でした。



06 屏風ヶ浦地区

屏風ヶ浦地区における現状

屏風ヶ浦地区社協は、磯子区の地区社協の中では世帯数、人口が9地区の中で最も多くなっています。一番少ない地区と比べると、人口で約3.5倍、世帯数で4.2倍にもなる大所帯です。この地区の特徴は、国道16号線を挟んで海側の集合住宅地区と山側の戸建て住宅地区に分かれています。

その生活環境は大きく異なり、活動面でもケアプラザが二つに分かれています。二地区が日常交流する事は殆ど無いと言っても過言ではない地区です。顔が見えない中で、地区住民の皆様が喜んでいただける事業展開を模索しています。共通課題について双方の協力・理解を進めながら、高齢化による担い手不足で、役員に手を挙げてくれる人をどう見出していくかが課題です。

コロナ禍の中ですが、令和3年度事業として昨年好評だった網戸の張替えを今年も実施しました。昨年にも増して好評でした。

また秋に入り、全自治会・町内会の80歳以上高齢者を対象にマスク8000枚を配布しました。秋以降コロナウイルス感染症も落ち着いてきていますので、事業展開も可能になってくると思われます。





07 杉田地区

コロナ感染症で学んだ 地域とのつながり

～町内会館を改装して活動再開～

コロナ感染症が蔓延し、第一次の緊急事態宣言が発出された時点では、地域の活動が全面的に停止しました。このままでは地域のつながりが崩壊してしまうことを危惧し、地域の皆さんが寄り添え、語り合える場所の提供が急務と考え、専門家の指導を仰ぎ、町内会館の換気を含む大工事を行いました。今では50名以下の集会が可能となり、コロナ感染症感染の心配もなく、地域の方々の活動の場となっています。



08 上笹下地区

～山野草の公園～ 水取沢公園愛護会

水取沢町磯子台三団地に隣接する水取沢公園は円海山から続く里山の一部を開いて作られましたが、設置から40年余、昔の里山の風景とは違った状態になっていました。2016年から公園愛護会が「里山の復活—山野草の公園」を目指して環境整備を始めました。

当時、斜面は笹竹に覆われ、地面に日差しが全く届かず、山野草が生える環境ではありませんでした。特に男性会員が時間をかけ、枯れた樹木の伐採や繁茂する笹竹を刈り取っていきました。すると、地面に日差しが当たるようになり、最初にタチツボスミレが咲き始めました。

その後、野鳥が種を運んでくるらしく近隣の氷取沢市民の森で見られるオカヅツナミソウ、オトコエシ、オカトラノオなど多種類の山野草が咲くようになり、野鳥、昆虫も多く見られ、「幸せの青い蜂」といわれるナミルリモンハナバチも飛んできて利用者を楽しませています。

09 洋光台地区

赤い羽根共同募金

コロナ禍の影響でさまざまな行事や活動ができず、とても残念な事でした。

10月4日に民生委員が洋光台地区3ヶ所で街頭募金をしました。腰が曲がった高齢者がショッピングカートを押して「いくらでもいいですか」と言って協力してくださったり、親子連れのママさんが幼児にお金を渡して募金し、赤い羽根を付けて喜んでくださったり、皆さんの善意を分かち合える日でした。



昨年度の活動の様子



幸せの青い蜂
「ナミルリモンハナバチ」

<注 記>

磯子台三団地⇒磯子台パークハイツ
パイロットハウス磯子台
興人磯子台マンション
水取沢公園愛護会⇒公園の敷地は8,426㎡(約2550坪)
現在の会員数は男6名・女6名
(2016年当時は男5名・女4名)

磯子区社協会員 紹介コーナー

磯子区社会福祉協議会は、区内の社会福祉施設や活動団体の皆さんによる「会員組織」で、正会員、賛助会員の方々に構成されています。

五感を養うための遊びや食育活動などで子供たちを応援!!

「キッズパートナー磯子中原」をご紹介します。



ケアパートナー (株)
磯子区中原3-3-11
TEL:045-773-3161
キッズパートナー磯子中原

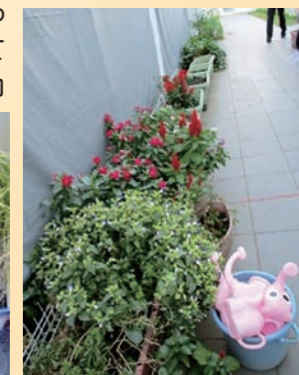
「キッズパートナー磯子中原」は、京急「屏風浦駅」から徒歩8分の住宅街に2019年4月に開園した、定員60名の横浜市認可保育園です。翌年には、同じ建物内にグループホームが開設され、高齢者の生活の場と共存する珍しい施設です。コロナ禍の現在、直接の交流が難しい中、お散歩に行く時にはグループホームの前を通るようにし、窓越しに手を振り合って挨拶を交わしたり、敬老の日には手作りのレターラックのプレゼントを贈るなどつながりを深めています。

保育園では、五感を養うために毎日リズム遊びをしたり、プランターで季節の花や野菜を育てるほか食育活動にも力を入れているそうです。この取材をさせていただいた10月には、育てたサツマイモを収穫してピザを作り、みんなで食べるのを楽しみにしているとお話をお聞きしました。また、クラブ活動も盛んで、外部講師をお招きした「体操教室」「英語教室」「サッカー教室」も行っています。

北川園長に磯子の印象を伺ったところ、磯子はとても穏やかな人が多く、子どもたちも落ち着いていると感じているそうです。この温かく穏やかな環境のもと、明るく笑顔の絶えない園を目指して、地元住民の方々とももっと交流の場を作って、子どもたちに様々な経験をさせてあげたいと明るい笑顔でおっしゃっていました。早くコロナが収束するといいですね。子どもたちの成長が楽しみです。



稲を育てたり
お花の世話を
自然に癒しています



録音ボランティア入門講座

磯子区録音ボランティア・アマリリスの会は、視覚に障害のある方のために文字やその他の各種情報を音声に変えてお届けする活動をしています。この度入門講座を開催致します。本講座では、視覚に障害のある方への理解を深め、録音ボランティアに必要な音声録の基本を学び、パソコンを使った録音体験などをします。

日程 2022年6月2日(木)～23日(木)の毎週木曜日
13:30～16:15 全4回

会場 磯子区福祉保健活動拠点「こすもす広場」4階
多目的研修室ほか(裏面に地図あり)

参加費 500円 (資料代・保険料他) **定員** 30名 (定員を超えた場合は抽選となります。)

対象 4回講座すべてに出席が見込める方。
講座終了後、区内の録音ボランティアグループで継続的に活動する意志のある方。

申込 2022年4月1日(金)～4月30日(土)
電話・FAX・メール又は窓口へ(磯子区社会福祉協議会)

主催 横浜市磯子区社会福祉協議会
磯子区録音ボランティア・アマリリスの会

問合せ ● 横浜市磯子区社会福祉協議会
TEL:045-751-0739 FAX:045-751-8608
メール:isg-vc@yokohamashakyo.jp

令和4年度 「磯子区ふれあい助成金」 「いそごサロン事業助成金」 の募集について

申込書や手引きは3月中旬ごろ磯子区社協のホームページ (<http://www.isoshakyo.com>) に掲載する予定です。ダウンロードや印刷ができない団体には郵送いたしますので、ご連絡ください。

申請は4月11日(月)～4月30日(土)に郵送かメールで提出をお願いします。(先着順ではありません)

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、申請方法に変更が生じる場合があります。詳しくはホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

※今年度の説明会は予定しておりません。

問合せ先 **磯子区社会福祉協議会**
TEL:045-751-0739
問合せ時間:平日9:00～17:00